

事例の情報	氏名：Aさん 性別：女性 年齢：73 身長：158 体重：55 血圧：128/68
人生経過	子供が小さい時から子育てと並行して経理の仕事をしていた。 子供が高校生になると正社員になる。 夫の闘病中(癌)も前向きになる。夫の世話は最後まで見切る。 弱みを見せない。人前ではきっちりしないとイケないという人。 7年前に夫と死別。
様子が変わってから 現在までの経過	7年前の夫の死後からうつ状態を認めるようになった。 喋ることが殆どなくなり、無気力で、食欲も減り、痩せていった。 それ以降も同じものを何度も購入したり、鍵や銀行カードの紛失、 銀行の暗証番号を忘れること出てきた。 その2年後にアルツハイマー型認知症と診断。しばらくは症状を維持 していた。 今年に入って、自分や家族の名前を忘れ、夫のことも忘れている。 毎晩、子供の頃に住んでいた実家に帰ろうとする。 娘が止めると大声を出し暴れる(体力がないのですぐに静かになる)
症状	服の着脱ができない お風呂に入らない 自分で食事や服を選んだりしない 歩き方がゆっくりでおぼつかない 自分や人の名前を忘れる 話が止まらなくなる時があり、内容が昔の事か作り話かわからない 手で食べるとか、箸やスプーンで食べるとか食べ物の区別ができない 自分から何かやる事がなくなった
他の疾患	腹部大動脈瘤、子宮下垂
生活環境	娘と二人暮らし。週5回デイサービスへ通う。
服薬状況	朝 バルプロ酸ナトリウム徐放錠A100mg1錠(躁鬱病の治療薬) 酸化マグネシウム錠330mg1錠(便秘薬) ドネペジル塩酸塩OD錠3mg0.5錠(抗認知症薬) ピソプロロールフマル酸塩錠0.625mg2錠(血管拡張剤) アジルバ錠20mg1錠(高血圧剤)  夕方・夜 バルプロ酸ナトリウム徐放錠A100mg1錠(躁鬱病の治療薬) 酸化マグネシウム錠330mg1錠(便秘薬) チアプリド錠25mg1錠(精神安定剤) センノシド錠12mg1錠(便秘薬) イーケプラ錠250mg1錠(てんかん薬)
家族の困りごと	毎晩、実家に帰ると暴れだす。(睡眠不足になる)自分で何もしない。
家族の希望	自分の意思を持って、楽しく過ごしてほしい。

<p><b>生活状況</b></p>	<p>朝～夕方まではデイサービスで過ごす。 夕方以降、食事をする以外は特にすることない。</p>
<p><b>食事</b></p>	<p>朝食：パン 昼食：デイサービスでは定食、自宅では麺類 夕食：白米、汁物、惣菜2品 甘味：乳製品のジュース</p>
<p><b>身体状態</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顔色がどす黒く頬が痩けている。</li> <li>・ 目や顔が垂れ下がっている</li> <li>・ 全体的に細っそりしている。</li> <li>・ 声かけに対して返事(「はい」「そう?」「そうなの」)をするが会話は成り立たない。</li> <li>・ 自分から話す時や殺気だっている時は言葉が出てくる。</li> </ul>
<p><b>治療経過</b></p>	<p>1ヶ月目：薬の減薬と食事管理(小麦粉の軽減とジュース減らす) 2ヶ月目：水分摂取と運動と食事管理(小麦粉の軽減は継続) 3ヶ月目：心と体の因果を利用した治療と便秘改善の治療 (2ヶ月目：水分摂取と運動(小麦粉の軽減は継続))</p>
<p><b>改善した症状</b></p>	<p>1ヶ月目の治療結果：動作緩慢、顔色のどす黒さが軽減 2ヶ月目の治療結果：服の着脱をするようになった 3ヶ月目の治療結果：実家へ帰ると騒ぎ出すことがなくなった</p>
<p><b>家族の変化</b></p>	<p>露頭に迷うことや不安がなくなった。 明確な目標や希望を持つことができた。 熟睡できるので、ストレスと疲労が減った。</p>
<p><b>課題</b></p>	<p>便秘の解消 拒否なくお風呂に入る</p>